

一般社団法人日本放射線看護学会 第11回学術集会

趣意書

2022年4月

第11回学術集会

会長 桜井礼子

東京医療保健大学 立川看護学部

## オンライン開催への変更について

謹啓 陽春の候、ますます御健勝のこととお慶び申し上げます。

日本放射線看護学会第11回学術集会の開催にあたり、これまでのご支援に、心から感謝申し上げます。

日本放射線看護学会第11回学術集会ですが、2022年9月17日（土）・18日（日）に東京都立川市のRISURUホールにて、対面で開催する予定で準備を進めてまいりました。

しかしながら、新型コロナウイルス感染症の影響が続いており、このような状況下では、会員の皆様が会場に来ることが難しい状況が発生することが懸念されます。このため、学術集会の開催を、オンライン開催に変更することといたしました。引き続き、学術集会が充実したものとなるよう準備をすすめていきたいと考えております。今後ともご協力のほど、よろしくお願いいたします。

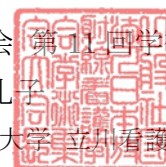
なお、9月17日（土）、18日（日）はオンライン配信、その後1ヶ月間はオンデマンドで引き続き学術集会を開催する予定にしております。

今後とも、何卒よろしくお願い申し上げます。

謹白

2022年4月吉日

一般社団法人日本放射線看護学会 第11回学術集会  
会長 桜井 礼子  
(東京医療保健大学 立川看護学部)



## 開催にあたってのご挨拶

謹啓 時下、貴社ますますご清栄のこととお慶び申し上げます。

この度、一般社団法人 日本放射線看護学会の第 11 回学術集会を、東京都立川市で開催することとなり、大会長をつとめさせていただきます。

会期は 2022 年 9 月 17 日（土）・18 日（日）とし、会場は JR 立川駅から徒歩 10 分のたましん RISURU ホール（立川市市民会館）で開催させていただきます。

COVID-19 の影響で、第 9 回、第 10 回の学術集会は、web 上での開催でしたが、第 11 回は、参加者のみなさまに、学術研究の地である立川にお集まりいただき、対面で直接、活発な交流、情報交換を図っていただける機会にしたいと企画委員が一丸となって頑張っております。

次の 10 年に向けてのスタートとなる第 11 回学術集会のテーマを「Client-Oriented Radiological Nursing ～放射線看護が挑むイノベーション～」とさせていただきました。

患者さんや住民のみなさまにとって最も身近な存在であることを自負して活動してまいりました看護職が、放射線利用においても対象者（client：患者さんや住民のみなさま）に寄り添った放射線看護を提供できる仕組み、環境づくりに挑戦する学術集会にしたいとの思いから、このテーマを設定させていただきました。

放射線診療をはじめとして、様々な領域における放射線利用は、目覚ましい勢いで日々進化・進展しており、将来にわたってなくてはならない技術・ツールです。このような中で、放射線看護の役割を、常に、問い直し、時代・社会のニーズにしっかり応えられる看護を目指している参加者のみなさまと共に考え議論し、挑戦し、放射線看護のプレゼンスをアピールしていきましょう。

参加者のみなさまにとって、有意義な学術集会になるよう、しっかり準備してまいります。

今回の学術集会では、立川市の共催をいただき「市民公開講座」を開催し、市民のみなさまに最新の放射線診療についての情報を提供させていただき、市民のみなさまにも放射線利用の「いま、これから」を知っていただく機会としたいと考えております。さらに、身近な放射線の存在を体感していただくために、放射線測定機器を使った測定実習も予定しております。

第 11 回学術集会の趣旨をご理解いただき、企画運営へのご協力とご支援を賜りますようお願い申し上げます。

末筆ながら、皆様方の益々のご発展をお祈り申し上げます。

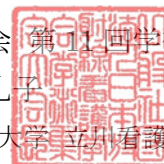
謹白

2021 年 10 月吉日

一般社団法人日本放射線看護学会 第 11 回学術集会

会長 桜井 礼子

(東京医療保健大学 立川看護学部)



## 一般社団法人日本放射線看護学会 第 11 回学術集会の概要

### 1. 学術集会の名称

一般社団法人日本放射線看護学会第 11 回学術集会

The 11th Annual Meeting of the Radiological Nursing Society of Japan (RNSJ 2022)

### 2. 主催者機関等の名称

一般社団法人日本放射線看護学会 11 回学術集会 企画委員会

### 3. 学術集会の会長

桜井 礼子(東京医療保健大学 立川看護学部 教授)

### 4. 学術集会のテーマ

Client-Oriented Radiological Nursing ～放射線看護が挑むイノベーション～

### 5. 会期

オンライン : 2022 年 9 月 17 日 (土) 9:00～ 9 月 18 日 (日) 17:00

オンデマンド : 2022 年 9 月 17 日 (土) 9:00～10 月 16 日 (日) 17:00

### 6. 開催方法

Web 開催

### 7. 参加予定者数

400 名

### 8. 一般社団法人日本放射線看護学会 11 回学術集会の目標と企画

本学術集会は、放射線看護に関連する専門職者が集い、研究成果を報告し、情報交換を行う場である。本学術集会は第 11 回目の開催となり、学術集会のテーマを「Client-Oriented Radiological Nursing ～放射線看護が挑むイノベーション～」とした。

放射線の対象となる人々に向けて放射線に対する“安全・安心”メッセージを発信していくとともに、働く看護職の安全・安心も届けたいと考えている。そのためには、これまで本学会および会員が取り組んできた放射線看護を振り返り、今後ますます放射線利用が進む医療の現状や放射線を取り巻く環境の変化をみすえ、放射線看護の新たなニーズをとらえ、放射線看護の役割を見直し再構築することが必要である。さらに、看護職自身が何をなすべきか、あらたな知識を得て技術を開発し活用することで、放射線看護の新たな価値を見いだす機会とする。第 11 回学術集会のテーマの実現を目指して、「放射線看護の役割」「最新の放射線利用の実態」「放射線利用における看護師と放射線防護」「放射線リスクマネジメント・リスクコミュニケーション」「チームで取り組む放射線防護・安全」「説明と同意、共同意思決定」などをキーワードとしてあげ、参加者のみなさまと共にこれらのキーワードを理解・再認識できる機会にすることを意図して、以下の企画を考えている。

## 9. 第11回学術集会の主なプログラム

- 会長講演「放射線看護が挑むイノベーションとは」 桜井礼子（東京医療保健大学）
- 基調講演「変革し続ける医療におけるチーム医療」 細田満和子（星槎大学）
- 特別講演「思慮深いまなざしをはぐくむために～放射線・原子力利用と看護職への期待～」  
神津カンナ（作家・エッセイスト）
- 教育講演
  - ①「がん医療における意思決定支援」 川崎優子（兵庫県立大学）
  - ②「現場の看護職に役立つ最新のケア」 後藤志保（がん研究会有明病院）
  - ③「最先端の核医学治療」 東達也（量子科学技術研究開発機構 量子医科学研究所）
- シンポジウム
- パネルディスカッション
- 学会企画
- 一般演題発表（口演・示説）
- 交流集会
- 市民公開講座  
「画像診断の進歩と最新の放射線治療」 早川和重（国立病院機構 災害医療センター）
- 市民イベント 「見えない放射線を見てみよう」  
(量子科学技術研究開発機構 人材育成センタースタッフ等)

## 10. 共催・後援

後援： 東京医療保健大学 東京都看護協会

共催： 立川市（市民公開講座および市民イベント）

## 11. 第11回学術集会の企画委員構成

委員長 桜井 礼子（東京医療保健大学）

副委員長 堀田 昇吾（東京医療保健大学）

委員 明石 眞言（東京医療保健大学）

坂本 照美（量子科学技術研究開発機構 QST 病院）

草間 朋子（東京医療保健大学）

加藤 知子（東京医療保健大学）

吉川 加奈子（東京医療保健大学）

## 12. 連絡先

一般社団法人日本放射線看護学会 第11回学術集会事務局

〒190-8590 東京都立川市緑町 3256

東京医療保健大学 国立病院機構立川キャンパス内

E-mail : [rnsj11th-gakkai@umin.ac.jp](mailto:rnsj11th-gakkai@umin.ac.jp)

URL : <http://conference.wdc-jp.com/rnsj/11/>

### 13. 一般社団法人日本放射線看護学会の事業目的と沿革

本学会は、科学的な基盤に基づき、時代・社会のニーズに的確に対応できる放射線看護学の確立、進化・発展の必要性から、2012年に任意団体として発足し、2018年4月2日、一般社団法人「日本放射線看護学会」として新たにスタートいたしました。この学会は、放射線看護の発展と専門的な活動の質向上に寄与することを目的としています。会員は、看護師、保健師、医師、福祉職をはじめとする専門職で構成され、2020年6月現在の会員数は約400名です。放射線看護学は、対象とする「放射線」には実用の視点に着目し、実践の科学である「看護学」と融合させた専門領域です。今日の医療において放射線は不可欠な診療手段の一つとなっており、放射線診療技術は、日進月歩で進化している中で、応用科学としての「放射線看護学」の役割は、放射線を受ける人々（被ばく者）の「安心・安全」の確保のための看護の視点からのエビデンスを検討し、看護を実践していくことであると考えております。

また、放射線看護学が、時代・社会の多様なニーズに対応できる専門領域として、さらに進化していくためには、放射線医学、放射線防護学、放射線計測学、リスク学など、他の専門領域とのコラボレーションがますます重要となってきます。また、放射線診療・放射線治療を提供する医療職自身の安全・安心な環境を整えることも重要な課題となっております。

一方、放射線の利用領域は、医療に限らず、工業領域、農業領域、エネルギー関連領域等の幅広い領域にわたっており、今後さらに拡大していくことが予想されます。放射線利用の拡大は、どこにいても放射線による影響を受ける可能性があることとも言えます。わが国は、国民線量の中で医療被ばくの占める割合が最も多い国として注目されております。また、1945年の広島・長崎の原爆被災、2011年の原子力発電所の大規模な事故を経験しております。これらに対応するために、地域の保健師などの看護職が、長期にわたって支援を行っている現状があります。看護の視点から積極的に情報を国際的に発信していくことも学会としての大きな役割となっております。

#### 学会活動（定期的な活動）

学術雑誌の発刊

学術集会の開催（年1回）

#### 最近の本学会の活動成果

##### 1) 看護職のための放射線防護・安全に係るガイドライン

放射線診療（業務）従事者の指定に関するガイドライン～看護職者～ 2020年3月

眼の水晶体の放射線防護ガイドライン 2020年12月

##### 2) 看護基礎教育

放射線看護教育モデルシラバス (①1単位15時間 ②2コマ短縮版) 2019年4月

##### 3) 放射線看護専門看護師（CNS）の支援

#### 14. 日本放射線看護学会 役員

第3期 理事会役員 <任期：2021年6月19日～2023年定時総会まで>

理事長（代表理事）	草間 朋子	（東京医療保健大学）
副理事長	太田 勝正	（東都大学）
理事	浦田 秀子	（長崎大学大学院）
理事	小西 恵美子	（鹿児島大学）
理事	作田 裕美	（大阪市立大学大学院）
理事	西沢 義子	（弘前医療福祉大学）
理事	野戸 結花	（弘前大学大学院）
理事	吉田 浩二	（長崎大学大学院）
監事	明石 眞言	（東京医療保健大学）
監事	菊地 透	（公益財団法人 原子力安全研究協会）
指名理事	木立 るり子	（弘前大学大学院）
指名理事	桜井 礼子	（東京医療保健大学）

#### 15. 一般社団法人日本放射線看護学会学術集会の開催実績

第1回	2012年9月29日	西沢義子	（青森県）
第2回	2013年9月14日～15日	浦田秀子	（長崎県）
第3回	2014年9月5日～6日	作田裕美	（大阪府）
第4回	2015年9月12日～13日	中馬育子	（鹿児島県）
第5回	2016年9月3日～4日	草間朋子	（東京都）
第6回	2017年9月2日～3日	太田勝正	（愛知県）
第7回	2018年9月8日～9日	浦田秀子	（長崎県）
第8回	2019年9月28日～29日	末永カツ子	（福島県）
第9回	2020年9月26日～27日	川崎裕美、廣橋伸之	（広島県） Web開催
第10回	2021年9月18日～10月17日	野戸結花	（青森県） Web開催
第11回	2022年9月17日～18日	桜井礼子	（東京都） Web開催

以上

# 寄付金募集のご案内

## 1. 寄付金単位

一口 10,000 円

(ご寄付を 20,000 円以上頂いた場合は、学術集会ホームページにバナーの掲載をさせていただきます。  
詳細につきましては、後日担当者よりご連絡させていただきます。)

## 2. 寄付金の用途

2022 年 9 月 17 日(土)から 2022 年 10 月 16 日(日)に開催される日本放射線看護学会  
第 11 回学術集会の準備運営の費用に充当させていただきます。

## 3. 申込期間

2021 年 12 月 1 日(水) ～ 2022 年 8 月 31 日(水)

## 4. 申込方法

本学術集会の趣旨にご賛同いただける場合は、下記申し込みフォームに必要事項をご記入ください。  
申し込み後に入金が確認され次第、領収書をお送りさせていただきます。

<https://forms.office.com/Pages/ResponsePage.aspx?id=kWou5LtA3EOuQUT3nxTKUPbiqPsshE1Mv48l1F90yE5UMTJEWFBKMIE0S0VXS1FLNVZHVEJYTjA4NS4u>

## 5. 振込先

金融機関名 ゆうちょ銀行

口座番号 10100 - 59798781

口座名義 日本放射線看護学会 (ニホンホウシャセンカンゴガッカイ)

\*税制上の取扱いや免税措置はございません。収支予算書が必要な際は、担当者にご連絡ください。

## 問合せ先

日本放射線看護学会第 11 回学術集会事務局

担当：堀田、加藤 ([rnsj11th-gakkai@umin.ac.jp](mailto:rnsj11th-gakkai@umin.ac.jp) 042-521-7201(代表))